

vol.1

『福島県の災害とソナエ』



▲津波避難の呼び掛けが効果的に行われ、速やかに逃げることを徹底することで、死者数を大幅に減らせることが分かりました

震度7の東北地方太平洋沖地震を想定して調査を行ったところ、県内の死者数が最大1万4276人発生す

る。県は昨年、「福島県地

震津波被害想定調査」を行いました。最大震度7を想定して調査を行つた

と、地域でみんなの命を守る「公助」の取り組みだけではなく、「自助」の取り組みだけでも多くの命を守れなくなります。そのため、県では「公助」に加えて、

全国でも大規模な災害

が頻発しており、これまで自治体などが行つて

いる。

日ごろから防災の意識を

自らの命を守る「自助」と地域でみんなの命を守る「公助」の取り組みだけではなく、「自助」の取り組みだけでも多くの命を守れなくなります。そのため、県では「公助」に加えて、全国でも大規模な災害が頻発しており、これまで自治体などが行つて

いる。学校などを訪問して防災の出前講座を行つたり、自主防災組織の活性化に向けた研修を開いたりして

いる。防災の心構えとして最も大切なのは、「自分が住んでいる地域にどんな災害のリスクがあるのかを確認すること」です。最近は特に大雨被害が全国的に増えていました。お住まいの市町村が作成したハザードマップなどを確認し、自分が住んでいるところはどういうエリアなのか、大雨が降つた時はどこに避難するのかを事前に知つておくことが大切です。そのほか、車は常時ガソリン満タンを心掛けることや、常に一定量の食料を家に備蓄する「ローリングストック」を行うなど普段から「いつ災害が発生してもおかしくない」ということを意識した備えをしていただけた



福島県災害対策課
工藤 宇裕 課長

#イソナエ キャンペーン

福島民友新聞社とふくしまFMが共同で展開する防災啓発特集「イソナエキャンペーン」。本年度第1回のテーマは「福島県の災害とソナエ」です。福島県災害対策課の工藤宇裕(たかひろ)課長に、今後予想される災害や、私たちが普段からできる防災に向けた取り組みなどを伺いました。

企画・制作／福島民友新聞社営業局

ホームページでも
詳しく情報を
発信しています。



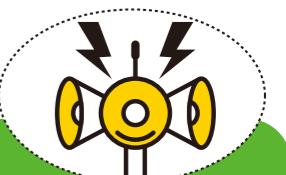
毎月3人に備蓄食品が当たる
プレゼント企画実施中!

毎月11日は
いい11備えの日



いざという時に慌てないために 日ごろの備えはできていますか？

私たちは #イソナエキャンペーンに協賛しています。



避難の準備は万全ですか？

アイリスオーヤマ
防災リュックセット33点
(BRS-33)
DAIYU HOME CENTER
8 ダイユーエイト

一戸建ての方限定
電気代高騰に耐えられない方に特報!
ソーラーポストの
カテーテルソーラー[®]
太陽光発電システムのバイオニア
ソーラーポスト
〒960-8204 福島市岡部字大蔵52-3

「地域をつなぎ、地域とつながる。」

あなたに、ベスト・ウェイ。
NEXCO 東日本

東日本高速道路株式会社

BATTERY
SOLUTION

あなたに、ベスト・ウェイ。
TOYO SYSTEM CO.,LTD.
〒972-8316 福島県いわき市常磐西郷町錢田106-1 TEL.0246-72-2151/FAX.0246-72-2152

すごいこと
です!!

ソーラーポストの
カテーテルソーラー[®]
太陽光発電システムのバイオニア
ソーラーポスト
〒960-8204 福島市岡部字大蔵52-3

NIKONIKO CABLE TV
株式会社 ニューメディア
福島センター長 中川宏生
〒960-8252 福島市御山字一本松 17-1-1
Tel.0120-173-577

「見えないとこから見守っています」

NIPPON KOEI

日本工営株式会社 パワー&デジタル事業本部

備えていればよかったです。
そんな後悔、誰にもしてほしくありません。
備えは、なるべくお早めに。

建物更生共済
むべきプラス

建物更生共済
My家財プラス

建物更生共済
JA共済

建物更生共済
JA共済

「共済」は「助け合い」。
大雨などの自然災害が多発するなか、
真価が発揮されています。

備えは、なるべくお早めに。

くらしの保障、相談するなら
JA共済

※ご加入にあたりましては、お近くのJAへお問い合わせください。
■JA共済ホームページアドレス <https://www.ja-kyosai.or.jp>

23079990213